

THE UNIVERSITY OF TOKYO
東京大学



農学部 農業・資源経済学専攻

5.29.Thu. at Yayoi
18:30~20:00
細野 ひろみ 准教授

食の安全を支えるコミュニケーション
不条理な人間に何をどう伝えるのか

10名以上の教員によるオムニバス形式の講義。「食の安全」をテーマにそれぞれ専門の立場から講義する。期末には、各講師から提示された課題から2課題を選択して、それぞれ2000字以上のレポートを作成する。
食の安全、健康問題をめぐる最新の研究動向について学際的に学べる。また、高齢化社会における食問題とその解決に向けた取り組みについて情報を得ることが出来る。

世界で最も安全だった日本の食品
神話を覆した90年代後半の大事件

本郷キャンパスに隣接した東京大学農学部のある弥生キャンパス。講義はその伝統ある校舎の一角で行われた。幕のある黒板や2階席のある空間は教室というよりも、ちょっとした文化ホールの趣きだ。
「農学はそれだけで総合大学が一つできてしまっただけで、多くの分野と関連した学問です。この講義もオムニバス形式で複数の教員が担当し、食の安全」についてさまざまな視点から考察していきます」と説明するのは、細野ひろみ先生。これから「食品に関するリスク・コミュニケーション」をテーマに講義を行うという。

日本の食品は世界で一番安全だと考えられてきた。それを覆したのは、1990年後半の日本BSEの発覚だ。以来、日本もコーデックス委員会が定めるリスクリスク・コミュニケーションをテーマに講義を行うという。



「農学はそれだけで総合大学が一つできてしまっただけで、多くの分野と関連した学問です。この講義もオムニバス形式で複数の教員が担当し、食の安全」についてさまざまな視点から考察していきます」と説明するのは、細野ひろみ先生。これから「食品に関するリスク・コミュニケーション」をテーマに講義を行うという。

理性的だと自信のあったはずが……
東大生を動揺させたヒューリスティクスとは？

実は人間の意志決定は合理的ではない。それを「ヒューリスティクス」と言う。リスク・コミュニケーションはその非合理性を踏まえて行わなければならない。「では、ここで自分がいかにヒューリスティックであるかを体験してもらいましょう」。そう言って細野先生が見せたのは人名の一覧だった。これを1分間で可能な限り多く記憶してほしいという。長澤まさみや綾瀬はるかなど見知った名前もある。

「はい、時間です」。スクリーンから一覧がはずされる。「今、見た名前について、男性と女性の名前のどちらが多かったですか？」
男性の名前が多かったと思う人？ 女性の名前が多かったと思う人？
女性の名前が多いと答えた学生のほうが多いようだ。「答えは男性と女性がちよっど半分ずつで



VOICES 学生の声
of University Students

まだまだ課題の残る被災地の食品
適切な情報提供に関する議論を

講義の後半は、リスク・コミュニケーションの事例が紹介された。中でも印象深かったのは被災地で生産された食品に関する意識調査である。2011年3月11日の地震後、岩手、栃木、宮城、福島、岩手、栃木、宮城、福島の4県で一時出荷が停止となった牛肉。再び出荷可能になると岩手、栃木、宮城の3県は比較的すぐに正常な価格に戻った。ところが、福島だけは価格が落ち込んだままだったという。
「正しい知識が必要だと考えた専門家は、ベクレルやシーベルトの意味や放射性物質の量と健康被害との関連についてメディア等を通して積極的に広報しました。その結果が次の通りです」。スクリーンに映し出されたのは、グラフ化された調査結果。被災地の食品に関する情報提供に「満足している」と回答した人が急激に増えているのが一目でわかる。
「ところが、問題なのは『満足している』と答えた人の大半が被災地の食品を買いたくないと答えていることです」。情報を得ることで消費者の行動が「買う」ではなく、「買いたくない」へ向いてしまったという皮肉な現実。今後、被災地の食品や情報提供はどうあるべきなのか。細野先生は「関係者による議論は緊急かつ重大な課題」とまとめた。



吉田 真悟さん(左)
農学生命科学研究科
農業資源経済学専攻修士1年
食の安全についてあまり知らなかったのが大変勉強になりました。大学院に進んだ当初は世界の食糧問題に興味がありましたが、今は日本の農家をもっとよくしたいと思っています。消費者と農家の関係を築き、多様でそれぞれ特徴がある日本の農家の魅力を伝えることに力を尽くしたいです。

横井 京子さん(右)
農学生命科学研究科
応用生命科学専攻修士1年
想像以上に科学者と消費者では食の安全に関する認知に差があることにびっくりしました。メディアなどを通じた情報提供の必要性を感じています。食に興味があり、さまざまな学部を調べた結果、農学部が適していると感じ、この分野に進みました。現在は味覚の研究をしていて、安全でおいしい食品を開発するのが夢です。



東京大学

資料の請求および
お問い合わせ先 URL <http://www.u-tokyo.ac.jp>
〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学入試事務局
TEL 03-5841-1222

- 法学部
- 医学部
- 工学部
- 文学部
- 理学部
- 農学部
- 経済学部
- 教養学部
- 教育学部
- 薬学部

【沿革・歴史】

- 1877 (明治10)年 東京開成学校と東京医学校が合併。東京大学が創設 (法・理・文・医)
- 1886 (明治19)年 工部大学校を統合し、帝国大学令により帝国大学と改称。以後、さまざまな学校と合併しながら総合大学となる
- 1890 (明治23)年 農科大学を設置
- 1897 (明治30)年 東京帝国大学と改称
- 1947 (昭和22)年 東京大学と改称
- 1949 (昭和24)年 旧制の第一高等学校・東京高等学校高等科を併合し、新制の東京大学となる。(法・医・工・文・理・農・経済・教養・教育の9学部)
- 1953 (昭和28)年 新制の大学院を設置 (人文科学・社会科学・数物系・化学系・生物系の5研究科)
- 1958 (昭和33)年 薬学部設置
- 2004 (平成16)年 国立大学法人となる

【イベント情報】

- オープンキャンパス (本郷キャンパス)
8月6日(水)・8月7日(木)
※詳細は、大学ホームページをご覧ください。
http://www.u-tokyo.ac.jp/index_j.html
- 家族でナック！ 理系最新線2014シンポジウム
女子中高生のみなさんへ理系進路の魅力をお伝えします！
日時:10月25日(土) 14時から
場所:東京大学弥生講堂一条ホール
※詳細は、大学ホームページをご覧ください。
<http://kyodo-sankaku.u-tokyo.ac.jp/activities/rieki-program/index.html>



ほそ野
細野 ひろみ先生
東京大学大学院農学生命科学研究科准教授。東京大学農学部農芸化学科卒業、東京大学大学院農学生命科学研究科農業・資源経済学専攻修士、博士 (農学)。(帯広畜産大学COE研究員、帯広畜産大学畜産衛生学専攻助教、京都大学大学院農学研究科准教授を経て現職。)専門は食の安全をめぐる消費者行動、家畜の病や食の安全に関する経済分析。食の安全研究センター(兼任)では、食の安全や放射性物質(の農学研究での利用)についてサイエンスカフェの開催や食の安全に関する情報提供、クイズアプリの開発を行っています。